

刊夕日四十月二十

# 常盤毎日新聞

定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元  
 発行所 常盤毎日新聞社 電話 六三〇〇  
 印刷所 常盤毎日印刷株式会社

## 家庭といふもの

成瀬 無極

何が羨ましいといつて、家の中に絶えず春風が吹いてゐるやうな家庭はど羨ましいものはない。どうせ人間生活のことだから、多少の晴れ曇りは免がれまいがおしなべて明るく、暖かくどこかで小鳥がさへずつてゐるやうな気分が家庭に入ると、こちらの心地も寛いで知らぬ間に時が経つて歸るのを忘れてしまふ。そしてこれはむしろ中流が中流以上の家庭に多いやうだ。

恐ろしくだつた廣い、迷宮のやうな邸宅に入ると、あたりがひっそり閑としてうそ寒い感じがする。どこに夫婦がゐて、どこに子供の部屋があつて、どこに書生や召使たちが居るのか皆目わからない。美しい小間使がコーヒーか何か持つて来て取りすましてお辭儀をしながら『あの旦那様は今しがたお歸り遊ばしたが大變疲れておいでになりましたので、お風呂を召しませますから、お目に掛ると仰言いますから、どうぞしばらくお待ち下さいませすやうに』と言ひ棄て、引き退る

ややあつて、今度は年かきの女中が菓子鉢と新聞を持つて現れて『どうぞ』とも言はず目禮して、かの二品を卓子の上へ置いて退場するもの四十分も経つてからこの家の主人公が丹前姿で出御相成つて『や、お待ち

- 明日の献立
- 朝味噌汁：若芽小付 八つ頭
- 晝かやく御飯 さざみ 紅生姜
- 晩清汁：半べん 三つ葉 刺身 鮮目わさび

たせして』と安樂椅子へ寛々と腰を下す、といったやうな風景は正に冬景色である。『いや、先生、どうも今日は驚きましたよ、こいつがね、何處かのデザートへ行つて来たんですが……』

『あら、貴郎、そんな事を先生の前で……』  
 『……行つて来たんですが歸つて何を云ふかと思ひますとね……』  
 『貴郎てば!』  
 『トツカピンを買つて来たといふんです』  
 『あたし、知らない!』  
 『驚きましたね、これには! 一葉落ちて天下の秋を

知る、俺も老いこんだかと流石の私も聊かしよけて、よく聞いてみる

と、何の事だ、特價品の間違たつたんです。こんなのは罪が無くて好い。聊かあてられ氣味だが正に春景色だ。

さうかと思ふと、客の顔を見るなり、無暗に妻君を叱り飛ばす亭主がある。それこそ一擧一投足に難癖をつけ、眼に角を立て、罵倒するのだ。それを客への馳走だと思つてゐるのだから

## 文藝募集

堪らない。客の前へ腕白小僧を出して、散々暴れさせ、悪ふぎけをさせて、子煩悩のありつたけを見せ、それを愛嬌だと心得るのも助からない。細君を諭しておくのも宜くなく、細君の出しやばり過ぎるのにも困る。

## 看護婦急派

求めに應じます

平町南町  
 看護婦急派  
 電話三〇七

一冊の代金で

御希望通りな

五冊の雑誌が

自由に讀める

川崎圖書庫

電話六三〇〇

干ヤナギ  
 いか切込

賣り始めました

鯉節 鯉鹽辛

平土橋

丸仙鮮魚店

電六六二番

正確な眼鏡は

平町二丁目

根本時計店へ

最新型眼鏡各種レンズ

豊富に取揃へてあります

(金銀高價買入)

## 諸橋科外醫院

(電。四六四)

平新川町二七

内臓外科  
 皮膚科・花柳病科  
 レントゲン科

醫學博士 諸橋 鐵 彌 弘  
 醫學士 奧 義

## 市原醫院

平町田町(電一一四番)

内科 小兒科 市原卯太郎  
 外科 梅毒・淋病 市原三三男

入院隨時

吸入用酸素純度 99%

度量器  
 モノサシ  
 マス  
 ハカリ

器量計

体温計

暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

關内藥局

電話四〇番

寫真材料一式販賣致シマス



玉屋洋品店  
 平町田町通 電話六五六番

# 軍服で歸郷を飾り

## 除隊土産は断然廢止

### 朝鮮部隊からの手頼で 平町で除隊家族へ通達

除隊兵の土産物廢止の實行は平町でも郡下町村と協力してゐるが今回平町出身朝鮮咸興歩兵第七十四聯隊第十一中隊歩兵上等兵小谷大三君の除隊に際して同中隊長栗田嘉重太尉から非常時の折柄殊に農村更生を叫ぶる、今日土産物の舊弊を打破して幾分なりとも疲弊を救ひ農村更生の一助となる様断然土産物贈與を禁止し

石山 齋藤

郷倉人穀式典 鹿島村は村内二ヶ所に新設した恩賜郷倉の入穀式を廿日大久保廿九日御代で行ふ

### 災害工事 竣功検査

災害復興工事として各二千五百圓を投じて着工した上野野村界橋並に入野野村千代橋の二橋架はこの程竣工本十四日小林平土木監督所長が出張竣工検査をなした

### 入山配當

湯本町入山採炭會社の東京本社では来る十八日重役會廿六日は株主總會を本社内で開くが今期利益配當は前

### 平土木委員會

土木委員會は十六日午後一時より平町會議室に開會左記案に就き協議する  
△道路改修工事潰地買収に關する件△道路使用繼續願に關する件

## 注目される

### 愛婦と國婦の對立

#### 平兩分會は常分靜觀主義

愛婦對國婦抗爭? 最近非常時の波に乗つて勃興めざましい各種婦人團體中の双壁「愛國婦人會」と「國防婦人會」のバックとなつてゐる聯隊司令部と縣當局との對立抗爭は國婦存在是か國婦無用論是か一段の大なる興味をそそぐつてゐるが平地方の前記兩團體分會はこの抗爭の渦中に投ずるや否やはまた白バイセントの興味を湧かしたせる、右に就いて支持説は

△伊藤知事談  
國婦と云つた處で所詮愛婦會の會員によつて組織されたもので會の主旨も同様で徒らに婦人運動の陣容を混亂せしむるだけ効果は無い。過般司令部と懇談し國婦を作るとも國婦會でしたい事をどうも愛婦會に註文してもらひたいにその活動を促して貰ひたいと希望を述べておいた。

## 反産が生む誤報

### 信組診療所真相

△……松村醫師無關係

郡醫師會の猛烈な反對運動に潰滅したかの如く巷間に傳へられた江名町中之作診療所は事實と相違して當初より江名信用組合經營の事實なく菅野憲三郎醫師經營にかゝるものであり同醫師が信組より建築提供を受け開業したもので半町松村醫師は單なる顧問となつてゐたものであるが反産運動の熾烈に行はれてゐる現在巷説の煩鎖から全然關係を斷つた旨闡明するに至つたが之等の一部の訛傳から延い

### 郡下女教員の卓球大會

あす平第一校で

郡下小學校女教員の卓球大會は明十五日午前九時半より平第一校講堂で催されるが優勝候補に目されてゐる平第一校軍のメンバー左の如し  
黒木 玉手 樋口 平塚

### 優勝杯を賭け

#### 精銳あす闘ふ

#### 郡下教員籠球大會

よ、明十五日午前八時から平第一校コートで舉行されるが出場校は十四校で今年から授與される大優勝杯を中心と接戦を豫想されてゐるが平町三小學校のメンバー左の如くである

△平第一校 橋本武夫 渡邊引 松本正治 佐藤兼介 仲村三郎 松本政夫 △平第二校 高畑正次郎 鈴木武雄 橋本正雄 熊谷保高 渡邊敬治 松本清美 △平第三校 矢代常好 石田伸六郎 渡邊彌平 西牧清富 風間覺雄 三本杉國雄

### 有利な冬季労働は

#### 縣内からと

#### 古河炭の求人運動

常磐炭礦方面は冬季に入つて非々雪國からの冬季出稼者を見てゐるか従来岩手、山形方面外からの出稼ぎ多く短期間で相當利益を擧

記同様八分と豫想されてゐる

松に出張同市職業紹介所に冬季内の優良坑夫斡旋を依頼した

平土木委員會は十六日午後一時より平町會議室に開會左記案に就き協議する

### 愈本工事

#### 明春三月竣工

既報平郵便局の暖房装置は此の程本局で工事入札を行つた結果工費二萬五千圓で東京城口商會が請負ひ明年三月廿二日迄に完成せしめる事になつたので近く本格的工事に着手する

納税作品 平町各小學校は今年四月過般の納税作品の優秀児童に對し青沼明長の賞状授與式を行つた

### 平町人事

出生 中町四小野好枝氏長男光平さん  
結婚 南町六九仲井勇氏(二五)大野村大字戸田字蛭田三八鈴木フヨさん(二五)

△湯本町大字湯本字天王崎四二渡邊文照氏(三一)胡摩澤一〇四齋藤チエノさん(二七)

### 本町新聞

平町新聞社  
電話一六四番

### 理髮業第三

部定期總會 平署管業組合第三部名簿 江名

### 走の景風末歲

## 年賀郵便の殺倒に

### 備へる平局の活動

#### ポスターの進出、新作

#### トッキー「暮から正月へ」等上映

郵便局員が全幅の努力を發揮せねばならぬ賀状洪水シズンも愈々迫つて平局では早くも今十四日から通行人に見易く局舎の外壁に宣傳用ポスターをずらりと掲げたが廿日から殺倒する年適郵便にも正日気分を臭はせ様と明十五日から平地方の松飾のトツブを切つて玄關前に門松を建てる、更に市民へ呼び掛ける手段として来る十九日には平館、世界館兩常設館で年賀郵便の取扱實寫を現はした通信省作製のトッキー映畫「暮から正月へ」を上映する等慌しい歳末風景はまづ郵便局からとばかり二段三段の

待機線を張つて居る、郵便局で希望する年賀郵便の骨子は  
一、年始状は多少に拘らず「年賀郵便」として一括差出して貰ひ度い  
一、押し詰つてからでは間違易く元日に先方へ届かぬから早期に出して貰ひ度い  
一、郵便物は行政區分を行ふので宛名は必ず府縣名を明記、官公署、學校軍隊肩書のものも所在地名を略さず冠記されたい  
一、年賀状を書上げた時は必ず一應読み直して誤記を避けられ度い

### 七百餘圓を呑む

## 太い染物屋

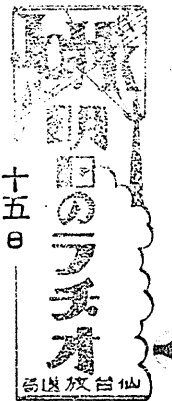
#### 依頼物横領で平署檢舉

平町北目町染爲業佐藤末夫(三七)は去る昭和八年十一月より本年十二月上旬までの間に依頼を受けた好問村北好問小野秀雄所有の羽二重二反を横領した外六九人から價格七百餘圓を横領同町質屋多田井ワカ方に入質費

### 偽畫伯が

#### 一萬圓詐欺

小野縣議一杯喰ふ  
去る本年一月以來湯本町、



天 今明も明日も北  
西の風晴曇半す

### 今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- ラヂオアラエテ「少年忠臣蔵」東京杉並區第一小學校兒童
- 後六、二五 趣味講座「義士討入」笹川臨風
- 後七、三〇 義太夫「忠臣蔵三代目」竹本文字太夫
- 後八、〇五 忠臣蔵歌謡曲
- 東海林太郎 きみ榮

### 明日の部

が被害額は一萬圓を超過すべく被害者の重なるものは小野縣議、石川湯本町長等である

## 何んと騙された?

### 大麥大量購入の指令

#### 平米檢で集めた千五百俵

平穀物検査所では去る七日縣からの急報電話で縣下冷害農村救済に拂下げる大麥を同管内より大量買上るから豫定数を翌日迄に報告し大麥を一定の箇所に取纏めよとの事に同所では全所員を動員して翌八日正午迄に郡下買上豫定数千五百俵と調査報告したがその後縣から買上相場は勿論何んの指令も入らぬので同所で取纏めた千五百俵の大麥は米穀商農倉等に積み上げた儘何時取引されるとも知れず歳末を控へ紙一枚でも金にし

### 寒風の街頭

#### 違反續出

昨夜交通特別執行  
平署は昨十三日午後五時から管内平、湯本、小名濱、江名、内郷の各要所に交通取締特別執行を行つたが網にかつた違反者總數三百件に上るべく平町のうち百餘件を筆頭に小名の八十餘件、湯本四十四件、餘江名卅件の多數に上る見込みで

### 東北一に

#### 平署躍進

稼ぎ上げた犯罪  
實に三千有餘件  
平署本年一月より十一月迄の犯罪件数は三千二百九十件、送致件數千五百件で早くも送致件數に於て千件を突破し同署の優秀な成績を表示してゐるが昨年一月分

### けふの吉辰に

## 平は花嫁汎濫

大安日の今日、平町はお目出度い婚禮の洪水だ、平町の美粧院をのぞくと絢爛な美しい花嫁姿が謹ましき番を待つなど一寸獨身者を惱ます風景だ、水野美粧院は花嫁八人あづま美粧院で七人その他の髪詰さんをませるとざつと卅組の花嫁花婿が朗らかな結婚行進奏を豊かでこの處出雲の神様もこの吉辰に會つて汗だくの體たらく

### 賭博の悪弊

#### 一掃を計る

軍人分會も應援  
平署並に郡内各町村役場當局並に在郷軍人分會では冬の訪れと共に例年賭博が盛んに行はれる事實に鑑みこれが徹底的防止につき協力この悪弊を一掃

### 恐喝男逮捕

#### 選舉肅正を種に

平町白銀町草野廣山(三七)は友人大越吉雄(三九)と共に相馬郡自治刷新會の名義で一部一錢二厘と印刷した相馬郡選舉肅正委員錄を一冊三十錢で押賣した外廣吉名義で金圓を強要して歩いたので中村署に檢舉された

### 坑夫壓死

好問村大字北好問隅田炭礦坑夫山金石太郎(三三)小林庄次郎(三六)の兩名は昨十三日午後十時頃同礦第一舊坑内に作業中

### の別れ

京山福造3「俊星  
義心の槍」木村忠衛4「問  
重次郎」吉田日の丸5「大  
石良雄と小田小太夫」東  
家鶴燕  
後六、〇〇 子供の時間  
津續童劇「續チヨビ助  
物語」  
後七、三〇 管絃樂 新交  
響樂團  
後八、一五 歌澤 寅松寅  
小滿  
後八、二五 寄席演藝 大  
阪千日前法善寺境内花月  
中繼「御挨拶ですわ」立  
美末子2「珍版忠臣蔵」花  
柳一駒外  
落盤で壓死した



# 櫻屋のお花

丸尾至陽(書)

## 五 櫻屋のお花

○「ヤイ、唐人が来た、毛唐だ、毛唐だ、見ろ、髪の毛が赤く眼が青いぜ、面白い人間が出来たものだ、あれは何んだらう」

△「毛トウの國から、出て来た役人よ」

○「日本人がついてゐるせ……」

△「あれはケトウの用心棒だ、早くいへば護衛だよ」

○「意久地のねえ奴だな、日本人でありながら、ケトウの用心棒になるとはオヤ、ケトウめこつちを見て笑つてゐる」

△「護衛の者と話をしながら此方を見て笑つてゐるが忌まゝしい奴だ、撲つてしまへ」

といつたがその頃は外國人を憎んでゐたこととて、一人石を拾つて投げつけるとそれやつてしまへてバラバラに石を投げる護衛の者はおどろいて「これ何をする、不埒者め石を投げると斬り捨てるぞ……」

おどしのために刀に手をかけた。

○「何をいふ、てめえから先に片付けてしまふ」

とバラバラに石を投げワーツと聲をあげて押しよせる。ヒユースケンもこれにはおどろいて水茶屋へ飛込んだ、ところへ群衆は押寄せてケトウ人を出せ



と罵る今にもこの水茶屋は踏み破られるかと思はれたヒユースケンはそこにゐた女の袖に縋つて何やらバラバラにいつたが、女には判らないししかし助けてくれといふことは判る、この水茶屋には櫻屋と書いたのれん

がかつてゐた、こゝにゐたは年頃十九か二十になる仇めいて粹な女です、華美な首抜き浴衣を着て、吉原の花魁からもらったか縮緬の前かけをしめ、役者の似顔の團扇で風を送つてゐたが、やがてバラバラと表へ出て

女「みなさん静かにしておくんさいよ、何だねえお前さんがたはそんなに騒いでさ」

男「オイ、お花さんケトウ人をこゝへ出してくれ、俺

たちを見て笑つたぜ、ケトウ人に笑はれるやうな悪いことはしねえ、こゝへ出してくれ」

花「何だねえ、そんなことをいつてわたしの店へ来た上は大切のお客様だよ、お前さんがこの自由にはさせ

ないよ、あの旦那に用があるならばおだやかにいふが、いゝ大勢あつまつて来て貪乏人がお救ひ米をもらうやうな、わたしが生きてゐるうちはあのお客様を出すことは出来ません、さアわたしを殺してあの旦那を引き出すがよい」

といひつゝ大勢の中へ躍り込んだが、弱よく強を制すとはよくいつたものでこの女の度胸のいゝのに氣を吞まれて手出しをする者もない、護衛の者は大喜び「この女の云ふ通りお前がたに不禮をしたこともあるまい、何うぞこゝは引上げてくれ、吾々よりも頼む」

男「ケトウ人を出せケトウ人を、なに櫻屋のお花が出たからケトウ人を助けろと女にまかせるとは出来ねえ、ユイ面倒だ、やつてしまへ」

とまた押しよせる、これを見てお花はバラバラと庇肌ぬいたが雪のやうな白い肌を朱入の櫻の刺青群衆はこれを見てびつくりしてあとへさがつた。

花「さアかうなればわたしは相手だ、腹糞でかこつたこの茶屋も、わたしのため

には城も同様、その城へ逃げこんだものはたとへ主殺しの悪黨でもお前がたの手引き渡すことは出来ないよ、ましてこゝに居る異人さんは遠いとこからこの日本の土地へ来たお役人様、それもお前がたに悪いことをしたのなら斬らうと突かうとお前がたの勝手にするが、いゝが、悪いこともせぬ人を大勢で取巻いてこれを袋叩きにしようとは江戸ッ子には珍らしい卑法ら仕方だ、さアわたしが一旦止めに上は上は異人さんを引き渡すことは出来ないよ、かうなれば相手を……してやる」

と美しい刺青を見せて、護衛の武士のさしてゐた刀を引き抜いて身がまへたがこの度胸に人々はわつと驚き再び押しよせる者もない、ところへ駆けつけたは淺草一帯の取締をしてゐる新門の辰五郎、これは江戸時代有名な俠客です

辰「まア待て、オイ、見ると大勢を押分けて櫻屋の前まで来た。」

## 十七日一夜限り

廣澤虎造 雲井雷太郎  
木村重友 木村友春  
東家小樂燕  
一行廿數名

會場 聚樂館  
主催 いはらき新聞社

## 御披露

此程店舗擴張の爲め平町停車場通り(元ダイヤ堂跡)甲陽館向ひに移轉致しました何卒御愛顧御用命の程御願ひ致します

時報堂時計店

## 内科一般

醫學博士 難波睦  
看護婦募集  
平町大町新川端  
電五〇二

## 内外科一般

金成醫院  
金成忠義  
平鎌田町(電三五八)

## 鈴木醫院

耳鼻咽喉科専門  
醫學士 鈴木正男  
平町田町(電話五八番)  
藤田女學校前  
自炊のお需めに應ず  
入院の便あり

補裝完成! 雨除、日除に  
道路の便あり  
仲縮自在の敷島のヒヨケヤ